



2021年4月27日

各位

会社名 SMK株式会社
代表者名 代表取締役社長 池田 靖光
(コード番号 6798 東証第1部)
問合せ先 常務執行役員 大垣 幸平
(TEL. 03-3785-1111)

通期業績予想と実績値との差異及び営業外収益（為替差益）の計上に関するお知らせ

2020年10月27日に公表いたしました2021年3月期（2020年4月1日～2021年3月31日）の通期連結業績予想と本日公表の実績に差異が生じたのでお知らせいたします。

また、2021年3月期（2020年4月1日～2021年3月31日）において、営業外収益（為替差益）を計上いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2021年3月期通期連結業績予想数値と実績の差異（2020年4月1日～2021年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 46,000	百万円 800	百万円 1,400	百万円 900	円 銭 139.83
今回実績（B）	48,560	1,070	2,601	1,917	297.92
増減額（B－A）	2,560	270	1,201	1,017	
増減率（％）	5.6	33.8	85.8	113.1	
（ご参考）前期実績 （2020年3月期）	54,161	△244	△185	△2,651	△410.88

2. 差異の理由

2021年3月期通期の連結業績につきましては、家電市場及び車載市場において販売が想定を上回り、売上高、営業利益は前回予想を上回りました。経常利益は、営業利益の増加に加えて、為替相場の円安進行により2021年3月期第4四半期（2021年1月1日～2021年3月31日）に為替差益8億1千5百万円を計上したことにより、前回予想を上回りました。親会社株主に帰属する当期純利益は、営業利益と経常利益の増加により前回予想を上回りました。

3. 為替差益の計上

2021年3月期第3四半期連結累計期間(2020年4月1日～2021年12月31日)において為替差損6億5千4百万円を計上していましたが、為替相場の円安進行により、2021年3月期第4四半期連結会計期間(2021年1月1日～2021年3月31日)において、8億1千5百万円の為替差益を計上しました。この結果、2021年3月期第4四半期連結累計期間(2020年4月1日～2021年3月31日)において、為替差益1億6千万円を営業外収益に計上しております。これは主として、当社グループが保有する外貨建債権債務の期末為替レートによる評価に伴い発生したものであります。

以 上